

鈴の音だより

松阪市
Matsusaka City
松阪市民病院
2023年10月
Vol. 318

職員が誇りを持って働き、地域の皆様が誇れる病院

編集・発行 松阪市民病院
編集協力 (株) 病院新聞社

臨床研究・創薬支援センター発足

院長・CRCセンター長 畑地 治

目の前の治療に行き詰まった時、我々は無力感を感じます。

肺癌治療を考えてみましょう。現在治療は日進月歩であり、次々と新薬が開発されています。現在、保険診療では使えなくても、開発中の効果的な薬剤がある場合があります。現在に至るまで、そのような新薬は、多くは都会の癌センターでしか使用できず、三重県の患者さんに届かないことがほとんどでした。

現在、我々松阪市民病院では、抗がん剤や分子標的薬を始め、感染症や間質性肺炎、COPD、喘息など、10種類以上の新薬の開発を行っています。わざわざ都会の癌センター、都会の大病院に行かなくても、効果的な新薬を使用することが可能な場合があります。しかしながら、新薬を開発し使用していくためには、効果や安全性をモニタリングするため、臨床試験が必要です。そして、その臨床試験は、医師の手だけで行うことは困難であり、臨床試験をサポートするコーディネーターが必要です。コーディネーターをCRC (Clinical Research Coordinator) と呼ぶわけですが、三重県内医療機関の中で、自前でCRCを雇用している病院は少なく (臨床研究が県内ではあまり行われていないことも理由の一つです)、多くは都会の会社からの派遣にとどまっていた。

今回発足した臨床研究・創薬支援センターは、薬剤師、看護師、臨床検査技師を中心にCRC 6名以上の体制を整え、医師、患者さん、新薬を開発する会社間の調整を行うことが目的です。まさに、松阪市民病院でしかできない医療を目指して発足するわけです。

一方、創薬の支援以外にも、臨床研究の支援も行っていきたいと考えております。

独りよがりの臨床研究は全く価値はなく、その臨床研究が認められるためには、質の高い英文雑誌に研究内容を投稿し、受理され、掲載されることが必要です。しかしながら、日常臨床を行いつつ、そのような雑誌に掲載されるような研究を行っていくことは簡単ではありません。松阪市民病院の医療の質を高めていくためには、モチベーションが高い医療従事者に集まってもらうことが必要だと思いますし、そのためには質の高い臨床研究を行うことができる体制を整えることが大切だと考えています。

数年前には考えられなかったことですが、毎年有名な英文雑誌に、松阪市民病院発の研究が数多く掲載されています。今後も無理なくその状況を持続するには、研究を支援していく体制作りが必要であり、その一環として松阪市民病院に「臨床研究・創薬支援センター」ができることは非常に意義深いことであると考えます。

今回の「臨床研究・創薬支援センター」の発足が、松阪市民病院の医療の向上につながり、さらには、都会の大病院でなくても、熱意があれば、質の高い臨床研究を行うことができるという事実を日本全国に発信することにつながればと考えております。

「松阪市民病院発のエビデンス」を作ることを目標に頑張っていきたいと考えてます。



院内のプロフェッショナル

安全な輸血治療に向け輸血実施の適否を判断する医師を手助け

認定輸血検査技師

辻 佐江子

中央検査室に所属する臨床検査技師の辻佐江子です。私は認定輸血検査技師という認定資格を持っています。

認定輸血検査技師は、輸血に対して正しい知識と正確な技術をもって、医師が輸血実施の適否を判断する手助けをします。

輸血は移植の一種と考えられているように、種々の副作用・合併症を伴いやすく、輸血治療を行うのには深い知識と的確な判断が要求されます。

当院では、輸血を必要とする患者の血液検査・交差適合試験を行い、検査に適合した製剤を輸血できるように、また輸血過誤が起きないように細心の注意を払って検査を行っています。

近年、輸血製剤の安全性は高まってきましたが、より安全に患者の輸血治療が行えるように貢献していきたいです。



紹介受診重点医療機関に選定されました

初診時には原則として紹介状が必要になります。

松阪市民病院は2023年8月1日から高度な医療機器・設備を所有する地域の基幹病院として位置づけられ、診療所や他の病院から紹介された患者さんを重点的に診療する「紹介受診重点医療機関」に選定されました。

紹介受診重点医療機関は、手術・処置や化学療法等を必要とする外来、放射線治療等の高額な医療機器・設備を必要とする外来などを行う医療機関です。

初診時には原則としてかかりつけ医などからの紹介状(診療情報提供書)が必要となります。紹介状なしに受診された場合は医療費(3割負担等一部負担金)とは別に初診時選定療養費をご負担いただくこととなります。



緩和ケア病棟再開のお知らせ

新型コロナウイルス感染症患者の受入れ病棟に転用されていた緩和ケア病棟(全室個室20床)が、このほど再開されました。

緩和ケア病棟は、がんと診断されて治癒を望むことが困難になった人が、残された時間を、その人らしく過ごせる生活の場を提供する病棟です。食事、排泄、入浴、睡眠、気分転換などの日常生活にかかわる様々な職種の専門家が援助します。病棟見学も可能です。ソーシャルワーカーが電話相談をお受けしています。

お問い合わせは、0120-037-715まで。

消化器内科 急速に高まるニーズ 超音波内視鏡治療の症例数とノウハウを蓄積

消化器内科科長・消化器センター長 西川 健一郎



松阪市民病院の消化器内科は、急速にニーズが高まっている超音波内視鏡（EUS）の設備更新を行い、技術をアップデートしてきました。症例数とノウハウも順調に蓄積されてきています。西川健一郎科長・消化器センター長に取組みを報告していただきました。

消化器内科は、2023年6月から西脇先生を迎えて新体制（西川健一郎医師、西脇亮医師、藤部幸大医師）がスタートしました。

西脇先生は遠山病院（三重県津市）で、第一線でご活躍をしてられました。外科専門医を有しながら様々な内視鏡治療（ERC＝内視鏡的逆行性胆管膵管造影、ESD＝内視鏡的粘膜下層剥離術）もこなせる貴重なオールラウンダーで、非常に穏やかな先生です。当院には消化器内科部長、内視鏡室長として赴任していただきました。栄養にも精通し、当院ではNST（栄養サポートチーム）の指導的立場に関わっていただいています。特に超音波内視鏡（EUS）の技術研鑽をしたいとの希望で当科を選んでくださいました。

藤部先生は当院での初期研修を終えて消化器内科を志望して下さった先生で、3年目から当科で研鑽してくださっています。常に前向きかつ誠実で、その成長速度には目を見張るものがあり、後輩の医師への指導もきめ細やかです。特にERCP（内視鏡的逆行性胆管膵管造影）に情熱を注いでいます。2人とも当科自慢のエースです。



超音波内視鏡の設備や技術をアップデート

ERCP(内視鏡的逆行性胆管膵管造影)は年間約250件施行

さて、当科では三重県の医療機関の中でも先駆けて、急速にニーズが高まっている超音波内視鏡(EUS)の設備更新を行い、技術をアップデートしてきました。2022年10月に導入した富士フイルム(FUJI)の超音波内視鏡観測装置(SU-1)および最新型のコンベックス型超音波内視鏡(EG-740UT)の症例数とノウハウ(EUS-TAやEUS-BD)も順調に蓄積してきました。

さらに今年は新たに十二指腸鏡(ED-580T)と最新型の処置用上部用スコープ(EG-840T)も導入し、FUJIのシステム単独でより効率的なERCPとEUS-BD(超音波内視鏡下胆道ドレナージ)の完遂が可能になりました。

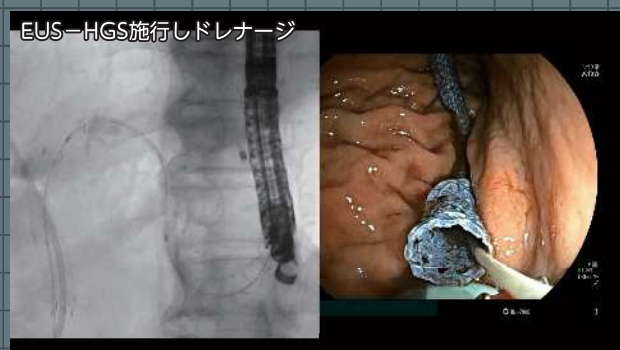
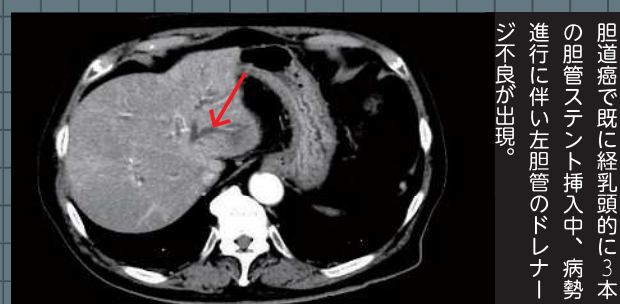
現在、EUS-BDの適応はERCPが施行不可能な患者さんに限定されていますが、愛知県がんセンターの原和生先生もおっしゃっているように、その位置づけはERCPを補完するものとなっています。

ERCPは昔からある確立された手技であり、当科では年間250件ほど施行していますが、ERCPによる経乳頭的な胆道ドレナージだけでは限界があることは事実です。

たとえばERCPで経乳頭的に3本の胆管ステントを置くことは技術的に困難ですが、左肝内胆管に経胃的にEUS-HGSでステントを置くことができれば経乳頭的なステントを1本減らせまし、その後のステントトラブル時の対応も容易となり、経胃的に左肝内胆管にアプローチできます。これらのEUS-BDを安全に完遂するには、その卓絶した穿刺性能の高さとガイドワイヤーのロック機構を有するEG-740UTが必要不可欠と考えています。今まではERCPとEUS-BDを一期的に施行する際にはまずオリンパスの十二指腸鏡でERCPをして、一度FUJIのシステムに総入れ替えてからEG-740UTでEUS-BDを追加していましたが、手順的にどうしても煩雑になってしまっていました。

システムの体制が整った消化器内科に乞うご期待

近い将来EG-740UTが治療の主軸になるのは間違いなく、FUJIのシステムのみで完結できる体制を整える必要があると考えました。今回FUJIの処置用スコープがそろい踏みしたことで飛躍的にEUS-BDの実用性が高まったと自負しております。進化を続ける松阪市民病院消化器内科に乞うご期待ください！



訪問看護ステーションを紹介

在宅医療に携わる各事業所と連携し、 住み慣れた自宅での療養をサポート

松阪市民病院訪問看護ステーションは、松阪市、多気郡を対象区域として、地域に貢献できる訪問看護を目指し、日々活動しています。

私たち訪問看護師は、当院だけでなく、地域の在宅医療に携わる各事業所の方々と協力・連携し、利用者さんや家族が、住み慣れた自宅で、療養生活が継続できるようにサポートしております。

また、新たに、がん看護専門看護師の杉野早也佳看護師が訪問看護ステーションに加わり、主に緩和ケア領域において、専門性を発揮したかわりができるようになりました。

これからも利用者さんや家族が、自宅で安心して生活していただけるよう、責任をもって信頼される質の高い訪問看護を心がけていきたいと思ひます。



「看護師復職支援研修会」の 参加者を募集

結婚や育児などで看護の仕事から一旦離れ、現在復職を考えている方を対象に11月27日（月）～11月29日（水）の3日間、看護の現場に触れる機会として復職支援研修会を開催します。現在、参加者を募集しています。対象は、看護師の資格を有し、現在離職中で復職をお考えの方（原則3日間通しで参加できる方ですが、参加日時については応相談）。募集人員は5名程度で先着順（応募多数の場合は、市内在住者を優先）。

「ずいぶんブランクがあるから心配」「復職したいけど勇気がない」「働くきっかけがつかれない」など、復職にご不安をお持ちの方は、是非ご参加ください。研修の内容は次の通りです。

お問い合わせは、潜在看護師研修担当、横山、谷口（電話0598-23-1515（代））まで

月 日	時 間	研修内容
11月27日（月）	9時～12時	医療の動向・医療安全／松阪市民病院の紹介
11月28日（火）	9時～12時	感染対策・演習
11月29日（水）	9時～15時	見学実習

令和5年10月分 松阪市民病院外来医師担当表

内科			月	火	水	木	金
	一般内科（新患）		★鈴木勇太	三重大 三輪啓志	三重大 伊藤稔之	★ 藤原研太郎	三重大 田丸智巳
	糖尿病科				三重大 西濃康太		
	午後 (13:00～ 15:00)	特殊外来	腎内 石川英二		▲4,18,25日 血液 三重大 山口素子		

(注) 一般内科受付は11:00まで

(注) 水曜日午前2診(糖尿)は予約診療のみ

▲(注) 水曜日後1診(血液)は第1,3,4予約診療のみ

※変更がある場合がありますのでご確認ください

消化器・内視鏡治療センター			月	火	水	木	金
	一般外科（新患）		横井 一	伊佐地秀司	春木祐司	春木祐司	消化器外科 医師交替
	一般外科（再来）		春木祐司	藤永和寿	中橋央棋	藤永和寿	
	乳腺外来 午後(13:30～)			石飛真人			
	消化器内科 （新患）		川村聡	西脇亮	藤部幸大	西川健一郎	大和浩乃
	消化器内科 （再来）		西脇亮				
	■特殊外来(5診) ■午後(13:30～16:30)			西川健一郎		黒田 誠	
				肝臓 清水敦哉			

(注) 一般外科受付は11:00まで

(注) 乳腺外来は予約診療のみ

★火曜日特殊外来(5診)は予約診療のみ

呼吸器センター	呼吸器内科			月	火	水	木	金
		1診		再診 田口 修	新患医師 伊藤健太郎	再診 田口 修	新患 坂口 直	再診 田口 修
		3診		畑地 治	▲3,17,31日 畑地 治		畑地 治	畑地 治
		2診 (補助診)				新患 鈴木勇太		
		4診 (再来)		新患 安井浩樹	鈴木勇太	伊藤健太郎		新患 ▲6,20日 藤原研太郎 ▲13,27日 西井洋一
	呼吸器外科	5診		呼吸器内科 医師交替	西井洋一	藤原研太郎		坂口 直
		内科1診 (新患)		手術		手術	■加納收	手術
		内科2診 (新患・再来)		手術	伊藤温志	手術	伊藤温志	手術
		内科3診 (新患・再来)		手術	樽川智人	手術	樽川智人	手術

(注) 新患の受付は11:00まで

循環器内科			月	火	水	木	金
	午前	1診	泉 大介	飯尾晃太郎	市川和秀	泉 大介	市川和秀
		2診					
	午後		検査	検査	検査	検査	検査

整形外科			月	火	水	木	金
	午前	1診	池村重人		池村重人	大学医師	池村重人
		2診		■大学医師			
		3診	西村卓真	西村卓真	山田淳一		山田淳一
	手術	午前	手術	手術		手術	
		午後	手術	手術		手術	

(注) 新患、予約のない方の受付は11:00まで

リマチ科			月	火	水	木	金
	午前					舘 靖彦	

(注) 完全予約制

*「鈴の音だより」の今月の色は「水色」。松阪しよんがいまつりからイメージしました。

泌尿器科			月	火	水	木	金
	午前	1診	再来 服部優奈			再来 米村重則	再来 櫻井正樹
		2診	新患 米村重則	新患 櫻井正樹	新患 櫻井正樹	新患 服部優奈	新患 服部優奈
	午後		検査	手術	手術	検査	検査

眼科			月	火	水	木	金
	午前	1診	高嵩祐布子	高嵩祐布子	高嵩祐布子	高嵩祐布子 ■再来 田中弥生	高嵩祐布子
		2診	藤本脩平	藤本脩平	■再来 田中弥生	代務医師	藤本脩平
	午後	1診	高嵩祐布子	高嵩祐布子		■再来 ▲12,26日 田中弥生	
		2診	藤本脩平	藤本脩平			
			検査	検査	手術	検査	手術

(注) 午後の診察は13:30～14:00(水曜は午前のみ診察)

(注) 金曜午後の診察はなし

(注) ■田中医師は再来のみ

▲(注) 木曜午後の診察は日付指定あり、10月の診察は12,26日

形成外科			月	火	水	木	金
	午前						▲6,20日 小泉正樹
	午後						手術

▲(注) 10月は第1,3金曜、予約診療のみ

皮膚科			月	火	水	木	金
	午前	1診	杉本恭子	手術	杉本恭子	杉本恭子	杉本恭子
		2診	大学医師		大学医師		

(注) 新患の受付は10:00まで、要紹介状、予約診療のみ

歯科・口腔外科			月	火	水	木	金
	午前	初診	松山博道	交替	仲村秀明	仲村秀明	中橋一裕
		予約	中橋一裕	交替	中橋一裕	中橋一裕	松山博道
		予約	仲村秀明	仲村秀明	松山博道	松山博道 (予約のみ)	仲村秀明
	午後		中橋一裕	中橋一裕	手術・ 歯周病 外来	中橋一裕	手術・ 歯周病 外来
			松山博道	松山博道 (予約のみ)		松山博道	
			仲村秀明	仲村秀明		仲村秀明	

(注) 受付は10:00まで

(注) 顎関節外来は予約診療のみ

(注) 火曜午前初診・予約は中橋医師と松山医師の交替制となります

(注) 急遽担当医師が変更になることがあります

脳神経外科			月	火	水	木	金
	午前	1診			三重大 当麻直樹		
		2診					

★(注) 受付は11:00まで

耳鼻咽喉科			月	火	水	木	金
	午前		大学医師			大学医師	

受付時間 午前 8:15～11:30

午後(診察のある科のみ) 13:00～14:00(科により異なります)

変更箇所 ★：今月より変更 ●：月途中より変更
 ■：先月より変更 ▲：今月のみ

松阪市民病院

〒515-8544 三重県松阪市殿町1550番地
☎0598-23-1515(代表)